

## 札幌市環境プラザ運営協議会 令和3年度第2回実施概要

- 1 日時 令和4年3月14日（月）16:00~18:30
- 2 会場 札幌市環境プラザ内及びオンライン
- 3 出席者
  - (1) 委員：伊井委員、阿部委員、東館委員、疋田委員、溝渕委員、森山委員、下川原委員
  - (2) 札幌市：環境局環境政策課環境教育担当係長、環境政策課推進係 係員
  - (3) 事務局：（公財）さっぽろ青少年女性活動協会 市民活動担当課長、市民参画課係長、主任職、一般職員2名

### 4 会議次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ 札幌市環境局 環境都市推進部 環境政策課長 東館 雅人 様
- (3) 運営協議会について
- (4) 委員 自己紹介、近況報告
- (5) 議事
  - ・札幌市環境プラザ 令和3年度の中間報告
  - ・札幌市環境プラザ 令和4年度の事業計画
  - ・その他 環境プラザの運営にかかわること
- (6) あいさつ 札幌エルプラザ公共4施設館長 下川原 清貴
- (7) 閉会

### 5 議事概要

#### ・札幌市環境プラザ 令和3年度の中間報告・令和4年度の事業計画

事務局から令和3年度の中間報告および令和4年度事業計画の紹介を行った。報告では、事業の進捗状況について写真などを紹介した。

#### 【質疑応答】

- Q （委員）令和3年度全体の力点、先ほどの報告に合った事業の成果を教えてください。
- A （事務局）低年齢層、環境教育に一番初めに入ってくる方々に力点を置いた事業展開を進めていた。また、「あそエコ団」「森のようちえん」などフィールドを使った事業を安定して実施することができた。
- Q （委員）子どもに向けたプログラムの中でこのメニューが最も反応がいい、逆にこの世代には違ったということがあったら教えてください。
- A （事務局）フィールドで実際に生き物に触れる瞬間の反応が最も高いように感じた。世代とは少し違うかもしれないが、低学年・高学年ではそれぞれアクティビティに対する感じ方も違っていたため、次年度はそれぞれの内容を分けて実施するなど工夫していきたい。大人向けでは「フェアトレードコーヒー」をテーマにした講座を実施したが、作っている背景などの部分で反応が良かった。
- ⇒（委員）逆に子ども向けだと危ないな、というような次からは気を付けなければいけないと感じた部分などはあったか？

⇒フィールドでは天候の変化、夏季の活動においては熱中症。水を飲む回数等にかなり気を配っていた。

(意見) 中高生などのティーンエイジャーへの対応については今年度から行っていたとのことであったが、学校からの指示で来ているのか、自分から来ているのか、それによっても色々と違ってくるとか思う。

・そのほか 環境プラザの運営にかかわること

事務局より見学プログラムやアクティビティの開発、展示のアップデートについての話題を中心にご意見やアイデアをいただきたいことを説明した。

(意見)

→来てもらうということが一番難しいのかもしれないが、来てもらうからにはネットでは知ることのできないことがあるのが一番いいと思う。

→(別の意見) 札幌市の他施設ではライブ配信等も行っている。オンラインから実際の来館につながることもあるので、うまく組み合わせながら取り組んでほしい。

(意見)

→SDGsを学校で学ぶというときに、たいていアイコンから何番の目標がこれといった事例の話がある。番号を覚えることが目的ではないと考えているが、環境プラザのアクティビティはそうした一対一ではなく一つの問題がさまざまに派生していることを伝えられていると感じる。現代に合わせてアップデートするという考え方は大事な視点で新しいものを作るのではなく、そのままでもいいようにも感じる。